

資料 2

第2期南陽市まち・ひと・しごと創生総合戦略

～令和4年度末実績報告について～

南陽市みらい戦略課

令和5年7月21日（金）振興審議会資料

I 第2期南陽市まち・ひと・しごと創生総合戦略

南陽市は、北部に丘陵、南部に沃野が広がり、米・野菜・果樹（ぶどう、さくらんぼ、ラ・フランス等）などの栽培にも適した風光明媚な自然環境に囲まれています。また、開湯920年余の伝統ある赤湯温泉、1,200年以上の歴史を誇り、あらゆる命を生み出し育む「むすひ」の神様をお祀りする熊野大社、郷土の民話を伝える「夕鶴の里資料館・語り部の館」、第15代日本銀行総裁等を歴任した結城豊太郎先生の遺品や文化財等を展示する「結城豊太郎記念館」や国指定史跡「稻荷森古墳」、全国一の文化と技を誇る「南陽の菊まつり」等の歴史と文化に彩られ、観光資源にも恵まれたまちです。さらに、全国初的大型木造耐火の文化ホール「南陽市文化会館」が開館したことで、新たな交流人口も見られます。一方で、新型コロナウイルス感染症の流行は、人や社会のありかたに大きな変革をもたらしており、今後は「新たな日常（ニューノーマル）」を意識した施策が必要であるとともに、感染症を契機として高まっている地方への関心を地方創生に繋げるため、人や仕事を惹きつける魅力的な地域づくりの実現が強く求められています。

II 基本目標

第2期南陽市総合戦略では、人口ビジョンによる人口の将来展望の実現を目指すとともに、前述の南陽市の現状や特徴を踏まえ、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が定める目標を十分に勘案し、以下の4つの基本目標を定めます。

- | |
|-------------------------------------|
| 基本目標1：稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする |
| 基本目標2：南陽とのつながりを築き、南陽への新しい人の流れをつくる |
| 基本目標3：結婚・出産・子育ての希望をかなえる |
| 基本目標4：ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる |

なお、施策の実施にあたっては周辺地域と連携を図り、これまで以上に自主的・主体的に地方創生に取り組みます。また、Society5.0やSDGsなどの新しい概念を積極的に取り入れ、多様な人材の育成と活用を図りながら、「新たな日常（ニューノーマル）」の構築を進めます。